

千葉市感染症発生動向調査情報

2019年 第30週 (7/22-7/28) の発生は？

1 定点報告対象疾患(五類感染症)

報告のあった定点数		30週	29週	28週	27週
上段:患者数 下段:定点当たりの患者数	小児科	18	17	18	18
	眼科	5	5	5	5
	インフルエンザ*	28	27	28	28
	基幹定点	1	1	1	1

「定点当たりの患者数」とは
報告患者数/報告定点数。

定 点	感 染 症 名	千 葉 市					千葉県
		注意報	7/22-7/28	7/15-7/21	7/8-7/14	7/1-7/7	7/15-7/21
			30週	29週	28週	27週	29週
小 児 科	RSウイルス感染症	◎	28 1.56	5 0.29	7 0.39	7 0.39	78 0.58
	咽頭結膜熱		7 0.39	5 0.29	6 0.33	5 0.28	33 0.24
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		22 1.22	10 0.59	31 1.72	38 2.11	303 2.24
	感染性胃腸炎		96 5.33	43 2.53	94 5.22	95 5.28	397 2.94
	水痘		2 0.11	1 0.06	3 0.17	9 0.50	40 0.30
	手足口病	★★○	353 19.61	269 15.82	382 21.22	245 13.61	2351 17.41
	伝染性紅斑		15 0.83	12 0.71	20 1.11	16 0.89	120 0.89
	突発性発しん		8 0.44	9 0.53	9 0.50	20 1.11	54 0.40
	ヘルパンギーナ		37 2.06	34 2.00	57 3.17	33 1.83	310 2.30
	流行性耳下腺炎		2 0.11	0 0.00	3 0.17	5 0.28	13 0.10
インフル	インフルエンザ*(高病原性鳥インフルエンザを除く)		0 0.00	1 0.04	1 0.04	1 0.04	12 0.06
眼 科	急性出血性結膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.03
	流行性角結膜炎		1 0.20	4 0.80	3 0.60	2 0.40	14 0.41
基 幹 定 点	細菌性髄膜炎 (髄膜炎菌性髄膜炎を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	無菌性髄膜炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	マイコプラズマ肺炎		0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 1.00	0 0.00
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)		0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

★★:流行中 ★:やや流行中 ◎:増加 ○:やや増加 →:変化なし ↓:やや減少 ↓↓:減少

2 全数報告対象疾患(15件)

病名	性	年齢層	診断(検査)方法	病名	性	年齢層	診断(検査)方法
結核	男性	40歳代	病原体の検出	A型肝炎	男性	40歳代	血清IgM抗体の検出
結核	男性	70歳代	病原体の分離・同定	レジオネラ症	男性	60歳代	病原体抗原の検出
結核	男性	70歳代	IGRA検査	侵襲性インフルエンザ菌感染症	男性	20歳代	病原体の分離・同定
結核	男性	90歳代	病原体遺伝子の検出等	百日咳	女性	10歳代	抗体の検出
結核	女性	50歳代	IGRA検査	百日咳	女性	10歳代	病原体遺伝子の検出
結核	女性	80歳代	病原体の検出等	風しん	男性	40歳代	病原体遺伝子の検出
腸管出血性 大腸菌感染症	男性	10歳代	病原体の検出及び ベロ毒素の確認	風しん	女性	20歳代	病原体遺伝子の検出
	女性	60歳代		-	-	-	-

・第30週は、結核6件(113)、腸管出血性大腸菌感染症2件(8)、A型肝炎1件(4)、レジオネラ症1件(8)、侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(7)、百日咳2件(87)、風しん2件(39)の報告があった。

※ ()内は2019年の累積件数。但し、累積件数は速報値であり、データが随時訂正されるため変化します。

定点当たり報告数 第30週のコメント

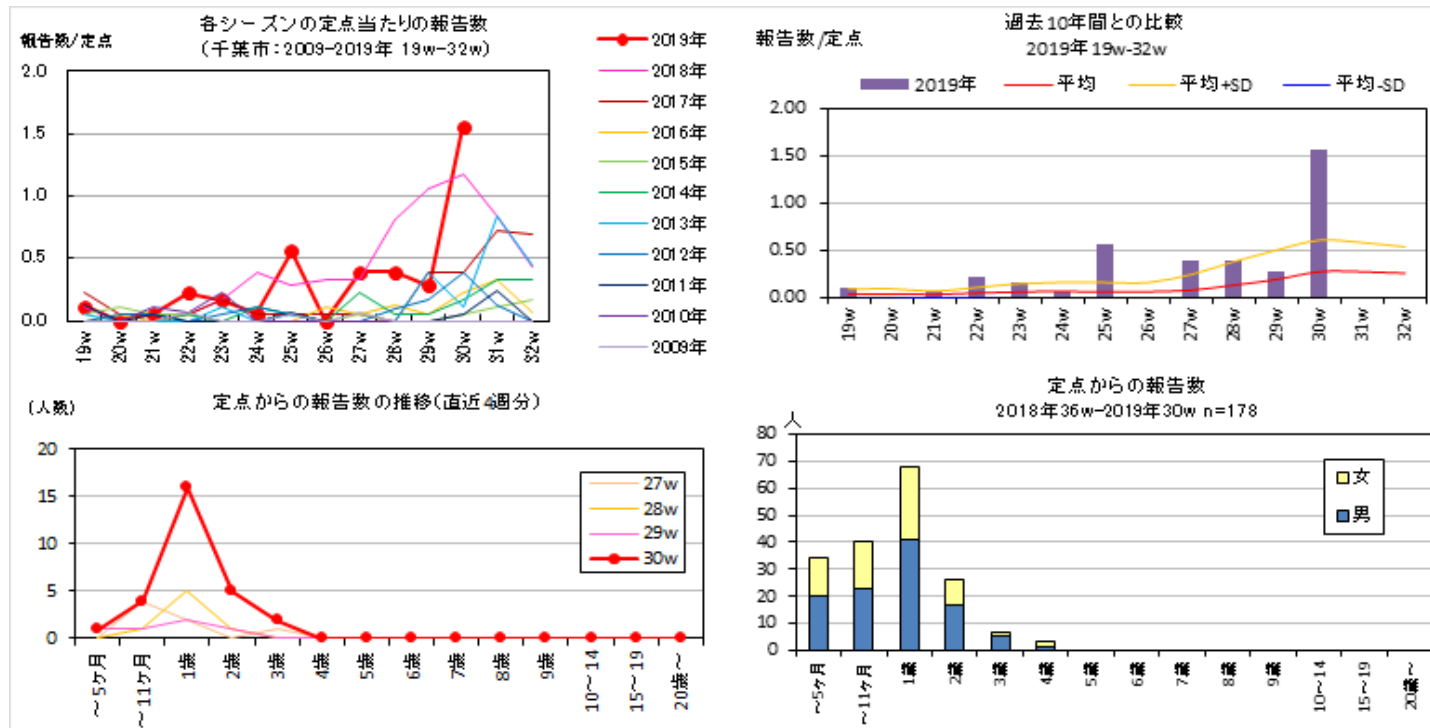
＜RSウイルス感染症＞前週より増加し1.56となり、過去10年の同時期と比べると最多。

＜手足口病＞前週より増加し19.61となったが、過去10年の同時期と比べると最多のまま。依然として流行発生警報開始基準値を上回っている。

■ トピック ■

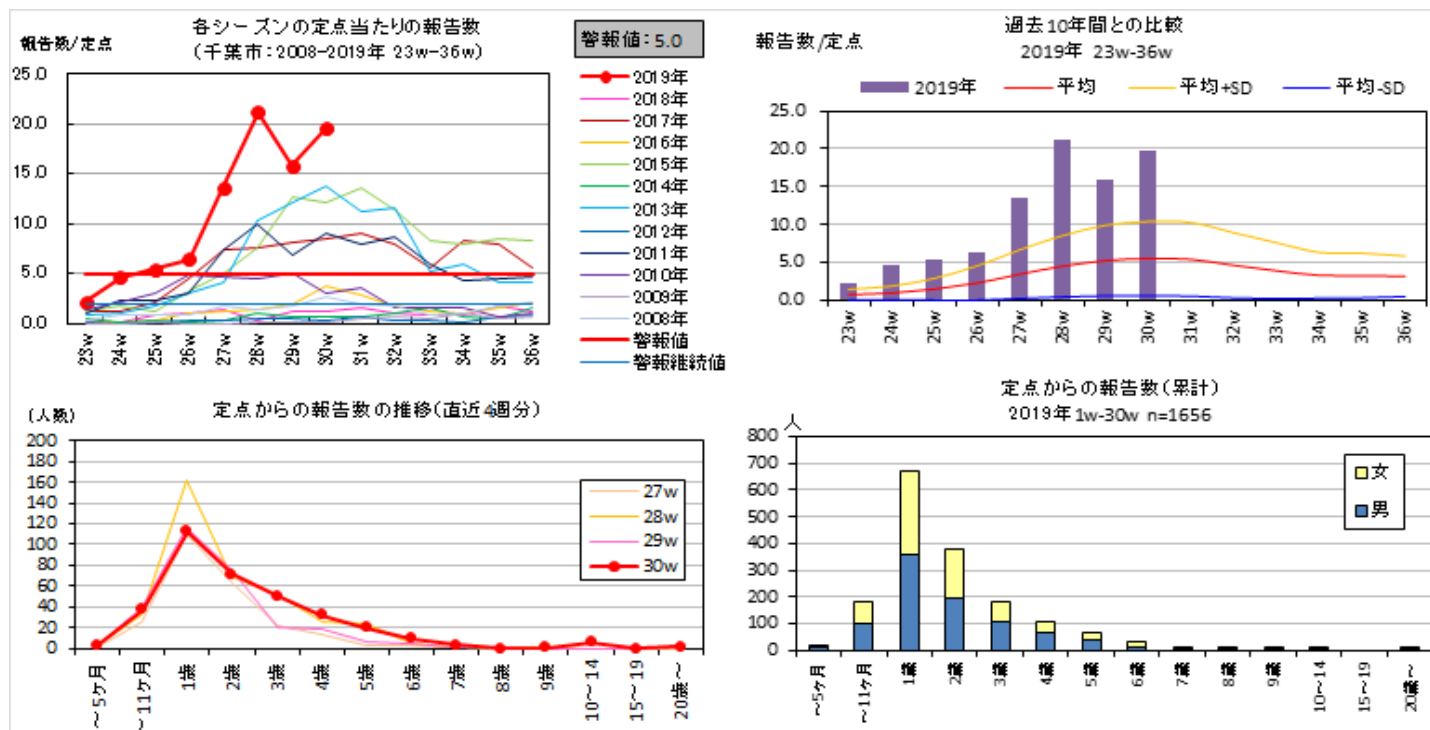
＜RSウイルス感染症＞

全国レベルの第29週の定点当たりの報告数は0.66となり、過去10年の同時期と比べると多い。都道府県別では沖縄県、宮崎県、新潟県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は0.58で、全国レベルと比べるとやや少なめなっています。千葉市の第30週は前週より増加し、1.56となり、過去10年の同時期と比べると最多となっています。区別の発生状況は、緑区(4.75/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第30週までの累積報告数は178件で、性別では男性が60.1%(107名)、女性が39.9%(71名)となっており、年齢階級別では1歳(38.2%:68名)、6-11か月(22.5%:40名)、0-5か月(19.1%:34名)の順で多くなっています。



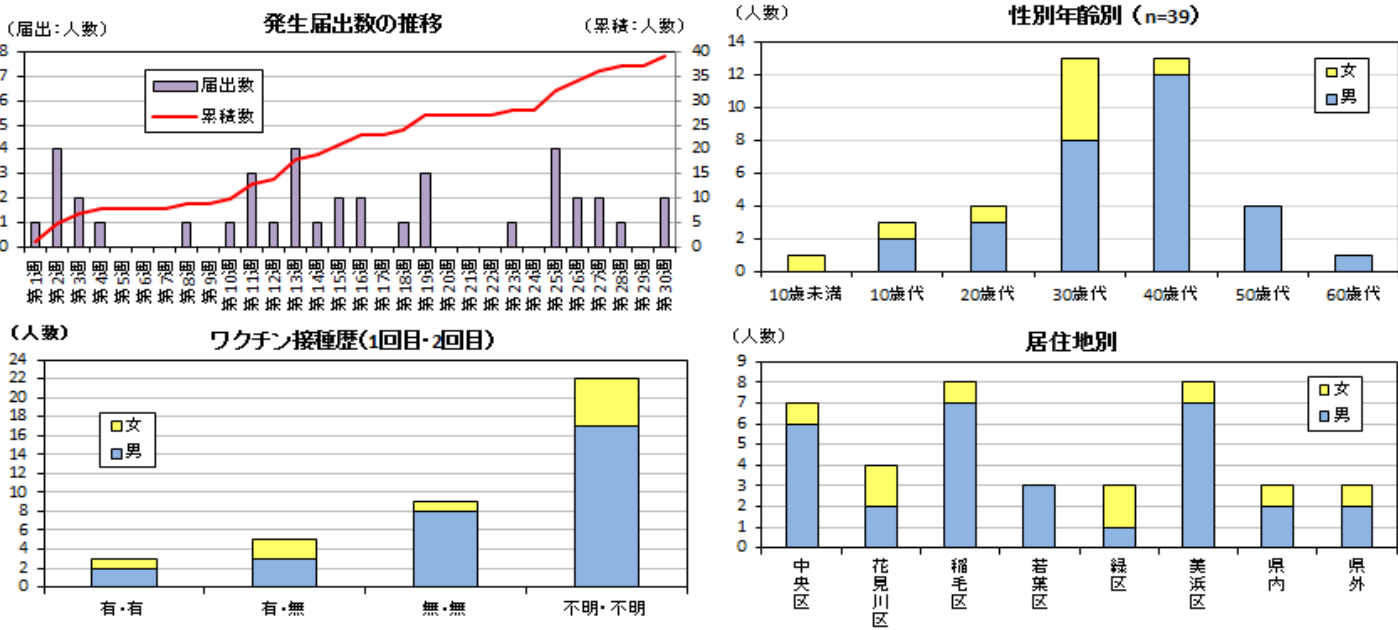
＜手足口病＞

全国レベルの第29週の定点当たりの報告数は12.01で、過去10年の同時期では最多となっています。都道府県別では埼玉県、福島県、山形県の順で多く報告されています。千葉県の定点当たりの報告数は17.41で、全国レベルより多めとなっています。千葉市の第30週は前週より増加し19.61となり、過去10年の同時期と比べると最多のままで、流行発生警報開始基準値も上回ったままです。区別の発生状況は、すべての区で流行発生警報開始基準値を上回っており、緑区(29.5/定点)で最多で、同区の1歳で最も多く発生報告がありました。2019年第1週から第30週までの累積報告数は1656件で、性別では男性が54.3%(900名)、女性が45.7%(756名)となっており、年齢階級別では1歳(40.6%:672名)、2歳(22.6%:375名)、6-11か月(10.9%:181名)の順で多くなっています。



<風しん>

全国レベルの第29週の発生届累積数は2004件で、昨年の同時期と比べるとおよそ35倍となっています。都道府県別では、東京都、神奈川県、千葉県 の順で多く報告されており、関東地方で多くなっています。千葉市では第30週に2件の発生届があり、2019年の累積数は39件となりました。性別では男性が76.9%(30名)、女性が23.1%(9名)となっており、年齢階級別では30歳代及び40歳代(共に33.3%:13名)、20歳代及び50歳代(10.3%:4名)の順で多く、30歳代～40歳代の男性が中心となっています。ワクチン接種歴は、無し又は不明が全体の8割近くを占めています。



ワクチン接種歴(1回目・2回目)

(人数)

接種歴	男	女
有・有	2	1
有・無	3	2
無・無	8	1
不明・不明	17	3

居住地別

(人数)

居住地	男	女
中央区	6	1
花見川区	2	2
稲毛区	7	1
若葉区	3	0
緑区	1	2
美浜区	7	1
泉内	2	1
泉外	2	1